

とびっくす (topics)

第47回こどもの読書週間記念講演

県立図書館では、平成17年4月23日（こども読書の日）に、絵本作家・翻訳家として大活躍の中川千尋さんを講師にお招きして、親子で楽しめる講演会「手をうごかして、子どもとなりて絵をよもう」を開催しました。中川さんの温かくユーモアを交えたトークと、親子で絵本「マルちゃんのおはなし」をつくるというワークショップは子どもたちにも大好評！。もちろん大人からも、「大切なこどもの時の世界を思い出せるきっかけになりました。」「来年もぜひ企画してほしい。・・・という、うれしい反響が寄せられました。

今度の4月23日、こども読書の日には、工藤直子さんの講演会を開催します。みなさん、乞う！ご期待!!



↑「こどもの目線から絵本の絵をよむことの大切さ」を話される中川さん

新館入館者1,000万人突破!!

昭和63年5月23日にオープンした新館の入館者が平成17年5月7日、遂に1,000万人を突破しました。

県立図書館は、明治35年5月に私立日州教育会附属図書館を県に移管して創立されました。それから80数年間県庁の近くに位置していましたが、置県100年記念事業として現在地に建設されました。鉄筋鉄骨コンクリート造り2階建て、延べ床面積9,729㎡、資料収蔵能力80万冊という堂々とした建物です。

1年間の入館者は約60万人、1日約2,000人の方にご利用いただいておりますが、1,000万人目の幸運な入館者は宮崎市内の小学2年生、外山果奈さんでした。

当日は記念のセレモニーが行われ、伊藤館長から記念品と花束が贈られました。



みどりの図書館フェスタ記念講演



2005年は郷土の歌人若山牧水生誕120年の年でした。

県立図書館でも、みどりの図書館フェスタにあわせて、歌人でもあり、牧水研究家としても著名な伊藤一彦先生の講演会を開催しました。演題は「一牧水と現代—あなたの知らない若山牧水」。

牧水への興味を誘う演題と、軽やかに分かりやすいお話ぶりで、実は難解な内容のはずなのに楽しくうかがうことができました。時折交えられるユーモアに会場からは笑いが巻き起こったほどです。参加者をすっかり牧水の生きかたに「あくがれ」させてしまった伊藤先生の講演会でした。

移動図書館車「やまびこ」の引継式

平成17年12月20日 県立図書館において、副知事、教育長出席のもと5代目の引退と6代目のお披露目が行われました。

児童の代表として、山之口町立麓小学校6年生の平原龍太郎くん、當瀬鴻美さんが感謝の言葉を述べ、宮崎カトリック幼稚園児50名が参加し、本の移し変えを行いました。

また、クリスマスプレゼントとして、副知事による読み聞かせも行われました。



みんなで記念写真



坂 副知事の読み聞かせ

“若山牧水のDVD”が寄贈されました。

県立図書館の蔵書、約60万冊の中には、書店等で販売していない貴重な資料も数多く含まれています。

とくに、わたしたちの郷土“みやざき”に関する資料は、その大半を寄贈により収集していますが、今年度も多くの皆様からの寄贈がありました。

たとえば、みやざきが誇る郷土人 若山牧水。その生誕120周年を記念してMRT宮崎放送が制作した番組のDVD・VHSもそのひとつ。

今後も、県立図書館は“郷土資料センター”を目指して、郷土資料の収集に努めていきます。



若山牧水のDVD贈呈 (2006.2.3)